



気温・湿度ともに上昇し、梅雨の訪れを感じる季節になりました。学校生活も1学期の中盤で、疲れがたまると感じます。ぜひ、「食事・運動・休養(睡眠)」の3つを日頃より心がけて、梅雨に負けない体を作っていきましょう。



6月は食育月間です



食育とは、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもので、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

～食育で育てたい「食べる力」～

1. 心と身体の健康を維持できる
2. 食事の重要性や楽しさを理解する
3. 食べ物の選択や食事づくりができる
4. 一緒に食べたい人がいる(社会性)
5. 日本の食文化を理解し伝えることができる
6. 食べ物やつくる人への感謝の心

農林水産省「私たちが育む食と未来 第4次食育推進基本計画」

©少年写真新聞社2025

★1年生がそらまめのさやむき体験を行いました★

5月13日(火)に、1年生がそら豆のさやむき体験を行いました。この体験は、食に関する関心を高めることを目的として行っている活動です。全校分のそら豆を、1年生のみなさんが一生懸命むいてくれました。むいたそら豆はすぐに調理し、当日の給食の「そら豆入り豆腐のうま煮」で提供しました。新鮮なそら豆の甘みや食感のよさを、幸松小のみんなで味わうことができました。



1年生の感想より

- ・さやのなかがふわふわだったよ
- ・さやのなかのまめが4つぶもはっていました
- ・たのしかった
- ・そらまめをむいて もこもこなものができておもしろかったです



よくかんで食べて虫歯予防!



6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です。よくかんで食べると、だ液がしっかり出てきます。だ液には消化を助ける作用があるほか、口のなかの汚れを洗い流すはたらきや、虫歯を予防するはたらきなど、口のなかの健康に大切な効果がたくさんあります。日頃からよくかんで食べるようにしましょう。



6月4日(水)の給食は「歯によい献立」です。大豆やごぼうの入った「かみかみごはん」や、「いかフライ」、「切干大根の和え物」など、かみごたえのあるメニューを提供します。しっかりかんで食べましょう!

6月5日・6日はお弁当の日です

6月5日と6日(市内陸上大会・予備日)は、「お弁当の日」となっています。

お手数をおかけしますが、お弁当と水筒の用意をお願いいたします。ご用意の際は、保冷材等を利用して、お弁当が傷まない工夫もお願いします。

お弁当作りに
チャレンジ!

お弁当の日を活用し、ご家庭でお子さんと一緒に、お弁当作りに取り組んでみませんか。お弁当作りに取り組むことで、食事や食べ物への関心が高まり、日ごろ、食事を作ってくれる家族への感謝の気持ちが育まれます。



お弁当を作るときのポイント



☆ポイント1 自分(食べる人)に合った大きさのお弁当箱を用意しましょう。

お弁当箱の容量(ml) = 1食当たりのエネルギー量(kcal)

お弁当箱には容量の表示があります。確認して食べる人にあったサイズのお弁当箱を用意しましょう。

3～4年生の場合…約600mlのお弁当箱

(きちんと詰めると約600kcalのお弁当になり、給食と同じエネルギー量になります。)

1～2年生は、約500ml、5～6年生は、約700ml

☆ポイント2 斜めにしたとき中身が動かないようにきっちり詰めましょう。

☆ポイント3 栄養のバランスも考えましょう。

衛生面のポイント

- ◆お弁当箱や使う器具は、よく洗い、乾燥させてから使いましょう。
- ◆食べるまでに時間が経過します。いつも以上に衛生に気を付けましょう。
- ◆お弁当箱に詰めた後は、しっかり冷ましてからフタをしましょう。
- ◆保冷バッグや保冷剤を活用しましょう。

